

平成二〇年度

国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況



列状間伐を実施した森林(長野県塩尻市 奈良井国有林)

平成20年度国有林野の管理経営に関する基本計画の
実施状況を公表しました。

開かれた「国民の^{もり}森林」の実現に向けた取組を紹介します。

① 公益的機能の維持増進

国民の皆さんの安全・安心・快適な暮らしを
支える森林づくり

日

本の国土の約二割を占める
国有林野は、森林面積の約

三割を占め、その多くは奥地^{せりよう}脊梁
山脈や水源地域に分布しています。

これらの森林は、国土や自然環境
の保全、水源のかん養など、さま
ざまな公益的機能を担っており、
私たちの生活の中で大きな役割を
果たしています。国有林野事業で
は、これらの機能を十分に発揮さ
せるため国有林野の適切かつ効率
的な管理経営を行っています。

国有林野の六八%を占める「水
土保全林」を目的により「国土保
全タイプ」と「水源かん養タイプ」
に細分し、前者の森林では、土砂

崩れ等の山地災害や飛砂等の気象
災害を防ぐために間伐等の施業を
行っています。また後者では渇水
や洪水の緩和を主な目的として、
健全な森林を保つていくために
一〇〇年程度の長い周期での施業
や育成複層林施業等を推進してい
ます。

国有林野の二八%を占める「森
林と人との共生林」を自然環境の
維持・保全、遺伝資源の保存等を
目的とした「自然維持タイプ」と、
レクリエーション活動の場の提供
や優れた景観の維持を目的とした
「森林空間利用タイプ」に細分して
います。福岡森林管理署では、地



伐採した木を丸太にする様子 (長野県塩尻市 奈良井国有林)



玄海風致探勝林の遠望 (福岡県宗像市 下浜山国有林)

こうした路網の整備に当たっては、地形に沿った路線線形にすることで発生する土砂量や構造物の設置数を減少させるほか、現地で発生する木材や土石を土木資材として活用することで、コスト縮減に努めています。米代川流域を管轄する米代東部森林管理署、同署上小阿仁支署及び米代西部森林管理署では、流域の森林組合や林業事業体を対象に、壊れにくい低コストな路網整備の現地検討会を開

域の方々に親しまれている玄海風致探勝林(通称「さつき松原」)をより魅力あるものとするため、地域の方々と共に、リフレッシュ対策に取り組んでおり、平成二〇年度は森林整備やバリアフリー歩道の整備などを行いました。
国有林野の四割を占める「資源の循環利用林」は、国民の皆さんの生活に必要な木材を安定的かつ効率的に供給することを目的とした森林です。多様で良質な木材を将来にわたって安定的に供給していくけるよう、間伐等を進めるとともに、効率的な木材生産の基盤となる林道や作業道等の整備を進めています。



岩手・宮城内陸地震直後の民有林被害状況の調査への協力 (宮城県栗原市)

催し、路網作設の実演や意見交換を行いました。
また、国民の皆さんの安全・安心な暮らしを確保することを目的とした治山事業を計画的に進めるとともに、岩手・宮城内陸地震などの災害に際し、災害直後の初動対応、本格的な災害復旧対応などに迅速に取り組ましました。



低コスト路網現地検討会 (秋田県鹿角郡小坂町 小滝国有林)

2 森林環境教育や森林とのふれあい等の推進

森林とふれあい、学ぶ。人と自然を繋ぐ国有林

国有林野事業においては、森林環境教育の実践の場として国有林野を利用していただけるよう、プログラムの整備やフィールドの提供などに積極的に取り組んでいます。

この一環として、学校等と森林管理署等とが協定を結び、国有林の豊かな森林環境の中でさまざまな自然体験や自然学習を進めていただく「遊々の森」の設定を進めています。平成二〇年度は新たに一八箇所が協定が締結されました。また、自ら森づくりを行いたいという国民の皆さんの要望に応えるため、国有林野



ふれあいの森での下刈 (滋賀県近江八幡市 伊崎国有林)

を森林づくりのフィールドとして提供する「ふれあいの森」の設定も進めています。カワウの営巣による被害が発生している琵琶湖湖畔の森林では、森林管理署と協定を締結したNPO法人が、森林の再生に取り組ましました。

そのほか、次の世代に引き継ぐべき木の文化を守るため、国民の皆さんの参加による「木の文化を支える森づくり」を進めています。平成二〇年度には新たに、全国二〇箇所目となる「首里城古事の森」を設定しました。



首里城古事の森での植樹 (沖縄県国頭郡国頭村 安波国有林)

3 新たな政策課題への率先した取組

地球温暖化の防止や生物多様性の保全等に向けて

地球温暖化防止に向けた京都議定書における我が国の温室効果ガス削減目標六%のうち、一、三〇〇万炭素トン森林による吸収量で確保することを目標に、国有林野事業においても「京都議定書目標達成計画」などを踏まえ、健全な森林の整備・保全や木材利用等に率先して取り組んでいます。平成二〇年度には、約一・四万鈔の間伐を実施しました。

また、全国一一箇所を設置している「森林環境保全ふれあいセンター」を核に、生物多様性の保全や自然再生に取り組む市民団体などと連携しな



自然再生活動での現地調査 (北海道江別市 野幌国有林)

がら、現地調査や自然再生活動、モニタリング調査にも取り組みました。

さらに、国有林野に多く残されている原生的な森林生態系や貴重な動植物が生息、生育する森林を保護林に設定し、その保全と管理にも努めています。小笠原諸島森林生態系保護地域では、「保護」と「利用」を調整し、森林生態系への影響の軽減を図るため、立ち入ることのできるルートを設定し、講習を受けたガイドの同行などを入林者に義務づける利用ルールを導入しました。



小笠原諸島の乾性低木林 (東京都小笠原村内国有林)

4 そのほかの様々な取組について

双方向の情報受発信による対話型の取組

開かれた「国民の森林」としての管理経営に活かすため、双方向の情報受発信による対話型の取組を進めており、平成二〇年度には「国有林モニター会議」等を開催し、国民の皆様幅広い情報を提供するとともに、さまざまな意見をいただきました。また、平成二〇年度に行った「国有林野の管理経営に関する基本計画」の改定に当たって、パブリックコメントを募集し、いただいたご意見を新しい計画に反映しました。



国有林モニター会議（岐阜県岐阜市）

林産物の持続的かつ計画的な供給

自然環境の保全に十分な配慮を行いながら、木材等の林産物の持続的かつ計画的な供給に努めており、平成二〇年度には七〇四万立方メートルの木材を収穫しました。また、間伐材等の販売に当たっては、集材・合板工場や大手住宅メーカーへ納入している製材工場など、これまでも主として外材を利用してきた大口の需要者に対して、原材料となる木材を安定的に供給する「システム販



生産された間伐材（岡山県津山市）

売」を推進することにより、国産材の需要拡大にも努めています。

なお、多様な森林を有する国有林野の特性を活かし、民有林からの供給が期待しにくい大径長尺材や、木曾ヒノキなどの銘木の計画的な供給にも努めています。

地域産業の振興、住民福祉の向上などに貢献

地域産業の振興、地域材の活性化、住民の福祉の向上等に貢献するため、計画的な木材の供給、事業の民間委託を通じた事業者の育成や就労の場の提供、国有林野の貸付けや売払い、森林空間の総合利用、分収林制度の活用、流域管理システムの推進など、さまざまな取組を行っています。四国森林管理局では、地域材の利用促進を図るため、平成一九年度から地域材を用いた木造建築に触れる「地域材発見ツアー」を開催しており、平成二〇年度は、地域材の利用拡大についてのシンポジウムも開催しました。



スロープカー用地の貸付け（福岡県北九州市 黒崎山国有林）



「地域材利用促進のためのシンポジウム」の開催（高知県高知市）